20年度 KA教育3D研究会
『公開授業見学会』レポート

公開授業見学会

グループコミュニケーション公開授業
会場：東京学園高等学校
開催：2008 年 9 月 17 日（水）
13:10～14:00
終了後～意見交換会

東京学園高等学校

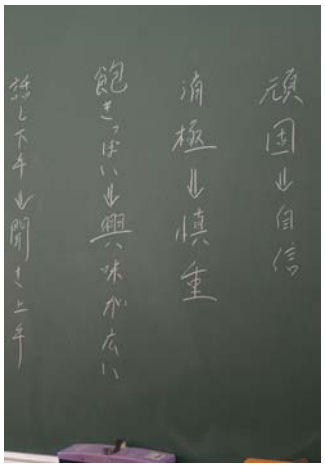
３Ｄ教育プログラムの導入から５年
目標設定、考える習慣、コミュニケーション能力など継続的な取り組みが着実な成果につながる

生徒と教員の資質向上に貢献するプログラムに期待

東京学園高等学校は伝統ある男子校。同校ではＫＡ教育の３Ｄ教育プログラムを導入（導入初年はエゴグラムのみ）して５年が経過した。これまでの継続的な取り組みにより、生徒一人ひとりへの成果が表れてきた現在、他校への情報公開の場として、2008 年９月 17 日、グループコミュニケーション公開授業が実施された。

同校における３Ｄ教育プログラムの推進者である髙野淳一先生（同校進路指導部長）は、かねてから感じていた基礎学力、学習習慣の不足感、自主性や積極性、目的意識の希薄さを克服するものとして、３Ｄ教育プログラムに期待をする一人。また、クラス指導、教科指導を担う教員個人の力量についても、このプログラムを通して、より向上が図れると見定め、積極的に同プログラムを推進している。今回の公開授業の開催についても尽力した先生である。

今回の公開授業は２、３年生の２学年実施され、全体的には３つのテーマが扱われた。



教員の“やる気”が生徒の“やる気”向上につながる

同校のグループコミュニケーションの実施状況は、水曜日の１時間目（50 分）に行い、年間で８回前後、全学年で実施。少人数クラスでの合同実施や年１～２回程度の担任、クラス入れ替えなど、工夫をして実施している。

年間カリキュラムは、各学年の代表２名を核として、実施状況の反省を踏まえ、次年度の教材を検討し、前年度のものをベースとして、学年の状態や方針を教材選びの段階で反映させている。20 年度においては、１学年が「CP と NP を高め、AC を下げる」で、２、３学年では「A を高める」に主眼を置き、年間カリキュラムを作成した。

こうした取り組みの成果として、コミュニケーション能力の向上、考える習慣づけ、目標を持つ生徒、目標を高めに設定する生徒の増加などがあげられた。

今回の公開授業を見学して感じたことは、教員による取り組み方法である。同テーマのグルコミの授業であっても、先生によって、導入方法、生徒に興味を持たせる例え話、生徒との授業中におけるコミュニケーションの取り方など、さまざまな工夫を凝らした手法が見られた点である。生徒のやる気を引き出すには、まず教員自身がやる気をもって取り組む姿勢に立つことが重要であることを改めて感じさせられる今回の公開授業であった。

共感・発見の場となった公開授業に関する意見交換会他校の取り組みを知る事で新たな改善策を見出す

教員の熱心な取り組みが肝要

さまざまな取り組みに関する意見が活発にあがった

公開授業の終了後に行なわれた意見交換会。東京学園での３Ｄ教育プログラムの推進状況、実際に授業を見た感想などが意見交換された。

当日に出た意見のいくつかを紹介したい。

「担任の研修が大事と改めて感じた」寺本郁夫教頭先生（日出中学校・高等学校）

「時間の制限があるため、事前学習をすることの必要性を感じた」鍛　昌宏先生（青稜中学校・高等学校）

「時間が足りないため、事前に記入させているクラスもあった」中山正秀先生（トキワ松学園中学校・高等学校）

「授業とのタイアップを行なうとさらによくなるのではないだろうか」金谷三枝子教頭先生（トキワ松学園中学校・高等学校）などである。

特に授業時間について、「足りない」という意見が多く、それぞれの学校での取り組みについて、紹介されていた。

また、東京学園の先生からも参加した先生に対して、逆に質問をしていたりと有意義な意見交換の場となった。

PHOTO　REPORT

出来る・大丈夫・大成功

KA教育3D研究会
2008. 9.17　KA教育3D研究会　公開授業見学会 in 東京学園高等学校

株式会社KA教育
〒173－0012
東京都板橋区大和町12－12
03-6784-7675